
前希釈on-line HDFにおける

APS-25SAの性能評価

松江腎クリニック

目的

- 透析除去性能向上を図るため、ダイアライザー面積も選択肢の一つである。
- 今回我々は、前希釈on-line HDFにおけるAPS-25SAの溶質除去性能を検討した。

対象及び方法

■ 1. クリアランスと除去量の測定

対象 本研究に同意した安定外来透析患者 1 名

30代男性 DW54. 5kg

方法

① 総透析液流量 (TQD) : 700ml/minに固定

② 血液流量 (QB) : 300, 375, 450ml/min
補液流量 (QS) : 0, 9, 12l/h
の条件でBUN, IP, β 2MGのクリアランスを測定

③ QB : 450ml/min, QS : 12l/h の4時間前希釈 on-line HDFにおいて中2日空きの
1透析当たりでのAlb損失量とBUN, IP, β 2MGの除去率, 除去量を測定

■ 2. 参考値として7月の時点でAPS-25SAを使用している 17名の治療設定と検査値を示す

使用コンソール : 日機装社製DCS-26

血流量別、濾過流量別の各クリアランス

3

(n=3)

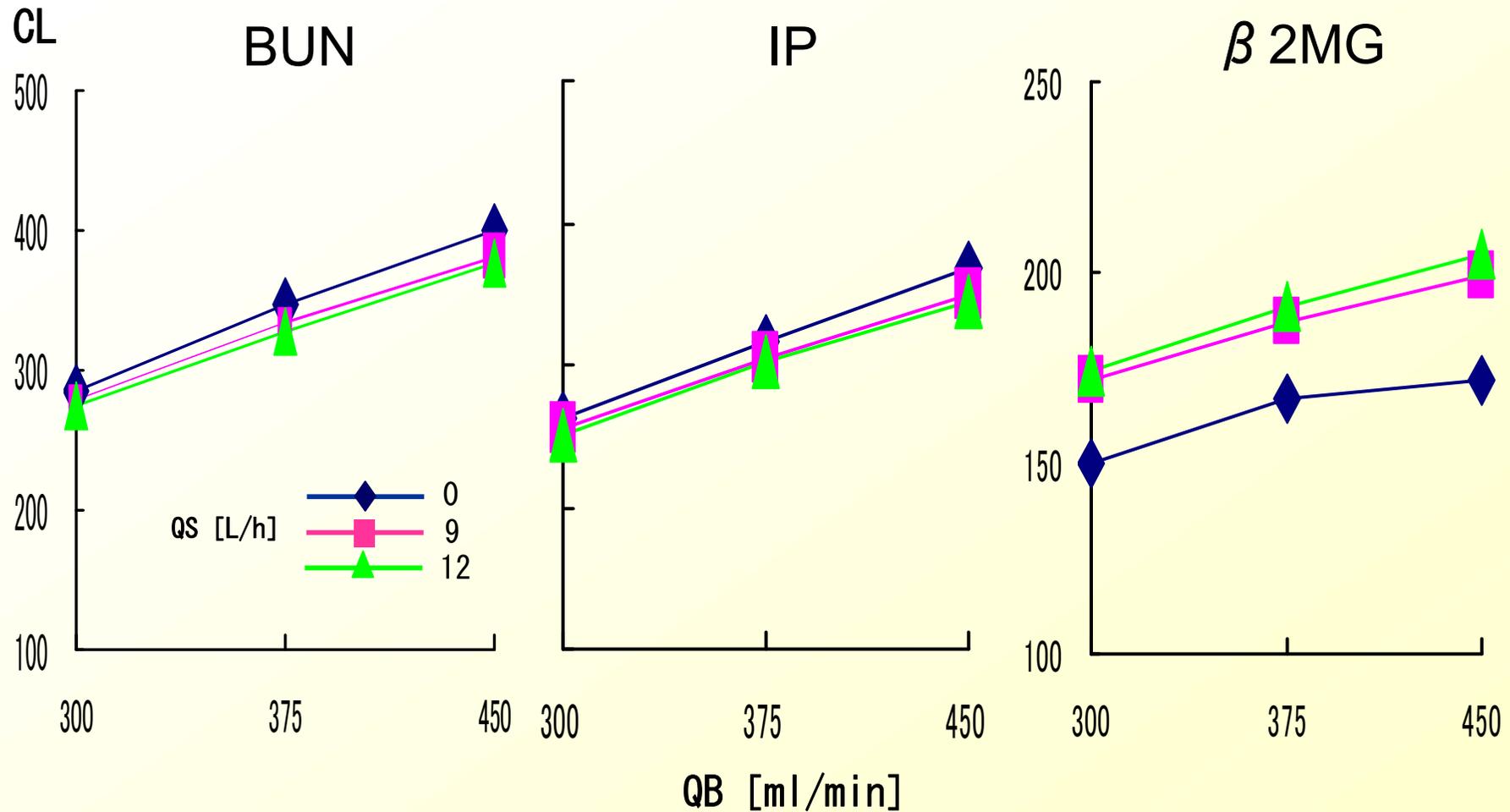
		QB:300	QB:375	QB:450
BUN	QS:0	285.1±1.3	346.2±0.8	400.1±1.2
	QS:9	278.7±0.7	333.0±0.3	380.1±1.3
	QS:12	274.6±0.4	327.1±1.0	376.4±2.6
IP	QS:0	261.5±2.0	316.3±3.9	368.2±0.0
	QS:9	254.9±1.9	304.2±1.7	348.8±12.1
	QS:12	251.3±1.2	301.6±1.6	345.6±4.8
β 2MG	QS:0	149.9±5.7	166.9±5.8	171.5±13.9
	QS:9	171.5±2.4	187.1±7.2	199.0±15.8
	QS:12	174.2±5.1	191.4±9.3	204.4±23.8

QS:補液流量

(mean±SD)

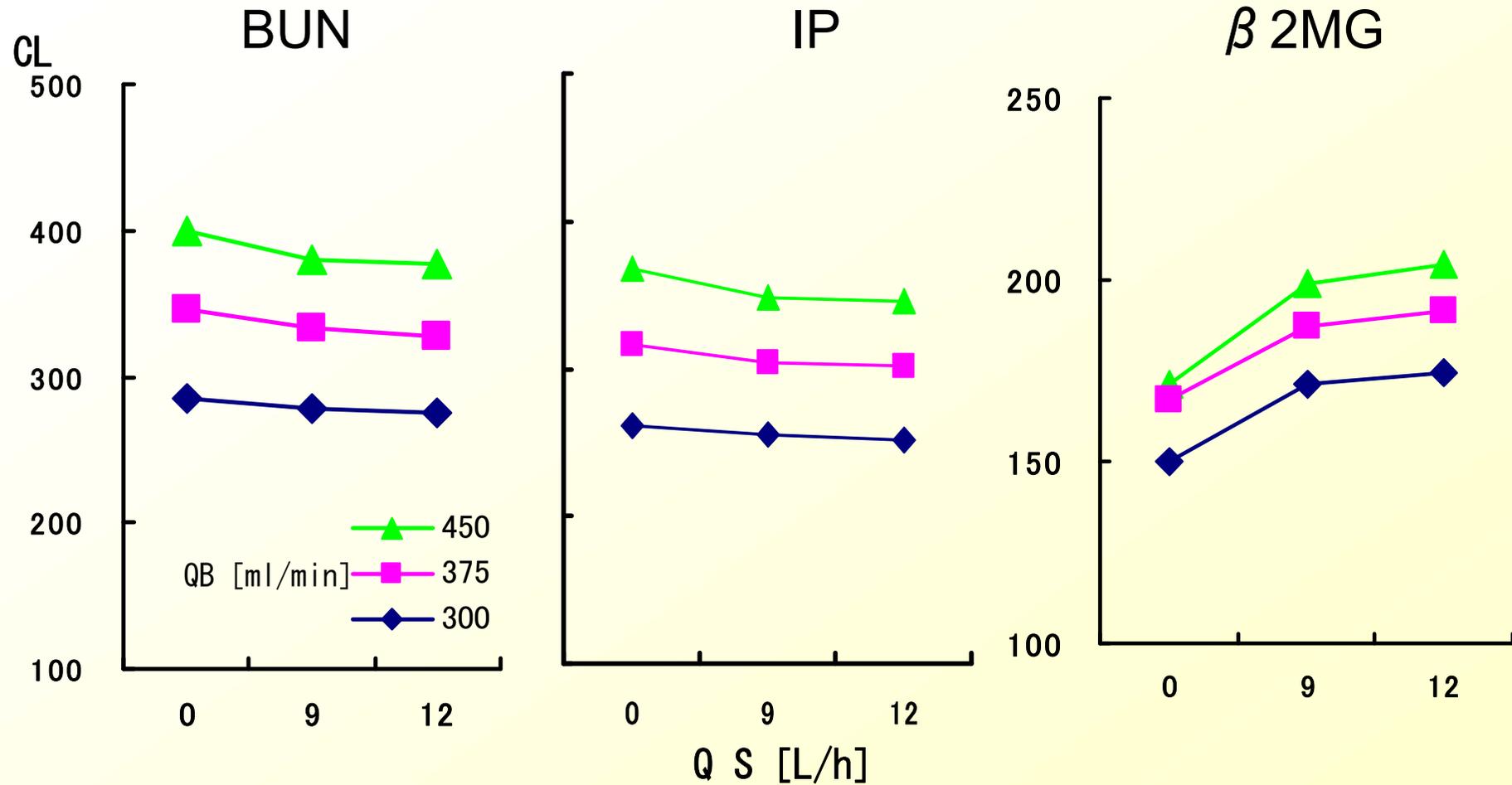
QB別の各クリアランス

(n=3)



QS別の各クリアランス

(n=3)



1 透析当たりの除去率, 除去量, Alb損失量

	除去率[%]	除去量	クリアスペース[L]
BUN	84.8±0.9	17.9±3.8[g]	32.8±2.2
IP	56.9±5.5	1.4±0.03[g]	43.9±5.3
β 2MG	84.9±0.1	154±22.3[mg]	6.0±1.2

Alb損出量: 0.7±0.01[g]

(n=3)
(mean±SD)

2005年7月の時点でAPS-25SAを使用して前希釈HDFを 施行している患者の治療設定とBUN, IP, β 2MGの除 去率 7

患者背景と治療条件

年	齢	59.1 \pm 11.6	
D	W	58.5 \pm 7.5	
Q	B	375 \pm 55	
Q	S	12 \pm 1.1	
T	Q	D	690 \pm 20
治療時間		4.47 \pm 0.4	

項目	除去率[%]
BUN	80.5 \pm 4.7
I P	62.7 \pm 7.6
β 2MG	82.1 \pm 3.6

(n=17)
(mean \pm SD)

結果

- BUNとIPのクリアランスはQBが450ml/minまで直線的に増加した。QSの増量に伴い、軽度の低下を認めた。
- β 2MGのクリアランスはHDモードではQB375ml/min当たりで頭打ちになる傾向が認められた。
- HDFモードでは β 2MGのクリアランスは増加したが、QSが9L/hと12L/hでの差は僅かであった。
- Alb損出量は1g未満であった。
- 臨床使用上も問題なく治療が行えた。

- APS-25SA は前希釈on-line HDFに適したダイアライザーである.